

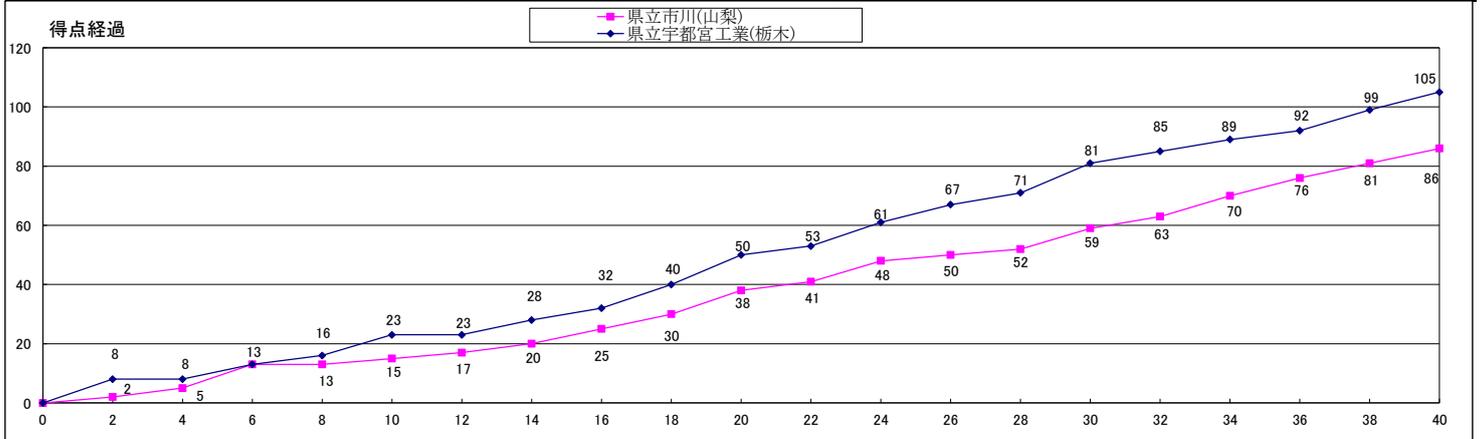
試合No.	A2	大会名	平成27年度 第26回 関東高等学校バスケットボール新人大会								
		期 日	平成28年 2月 6日(土)			会 場	小田原アリーナ				
男子1回戦	主 審	大澤 尚樹(神)			副 審	加藤 祭(神)					
	チ-ーム名				1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計
	県立宇都宮工業(栃木)				23	27	31	24			105
		県立市川(山梨)			15	23	21	27			86

県立宇都宮工業(栃木)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
渡辺 翔太	4	39	4	17	24%	11	18	61%	5	5	100%	2	2	3	6	1	3	3
深田 匠満	5	32	0	1	0%	10	18	56%	12	16	75%	9	11	0	2	1	2	3
安納 駿	6	24	0	0		12	26	46%	0	6	0%	8	9	0	0	1	1	3
藤井 時生	7	2	0	5	0%	1	7	14%	0	0		0	7	1	1	1	4	1
三河 寛太	8	0	0	0		0	1	0%	0	0		0	1	1	0	0	0	0
田代 航	9	8	0	0		4	7	57%	0	0		4	5	1	2	0	4	1
吉原 慶	10																	
軽部 勝大	11																	
金久保 鈺介	12																	
安藤 幹人	13																	
打田 大騎	14																	
松島 開	15																	
長濱 聡	16																	
小野 恭士朗	17																	
三原 広大	18																	
コーチ	千村 隆																	
合計		105	4	23	17%	38	77	49%	17	27	63%	23	35	6	11	4	14	11

県立市川(山梨)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
渡辺 捺暉	4	7	1	8	13%	2	9	22%	0	0		2	7	8	5	0	4	2
渡邊 耕大	5	6	0	0		3	6	50%	0	2	0%	2	4	3	2	0	3	3
梶原 拓海	6	11	0	0		5	9	56%	1	2	50%	4	5	0	0	1	1	5
高松 春	7																	
山田 隆誠	8	0	0	0		0	0		0	0		0	1	0	0	0	0	1
坂本 涼太	9	30	8	24	33%	2	4	50%	2	3	67%	0	3	0	1	0	1	3
星野 隼人	10	25	1	2	50%	11	13	85%	0	1	0%	5	5	0	1	0	3	2
中澤 海斗	11	4	0	1	0%	2	3	67%	0	0		1	4	3	0	0	3	3
日原 翔夢	12	0	0	1	0%	0	7	0%	0	0		0	0	4	0	0	3	0
矢崎 正広	13																	
高山 歳也	14																	
鈴木 詩琉	15	0	0	0		0	0		0	0		0	1	0	0	1	1	3
野村 拓矢	16	3	1	3	33%	0	0		0	0		1	1	0	1	0	1	0
今村 統希	17																	
佐野 楓	18																	
コーチ	吉川 仁																	
合計		86	11	39	28%	25	51	49%	3	8	38%	15	31	18	10	2	20	22



戦評

1P 両チームマンツーマンからスタート。宇工が④を中心に速い展開で得点を重ねていくのに対し、市川は⑩のゴール下や3ptsで得点していく。開始6分を過ぎても一進一退の攻防を続けていたが宇工は⑤がゴール下で攻守に粘り、④の速攻などで徐々に点差を広げ、23-15宇工リードで終了。

2P リズムを変えたい市川はディフェンスをオールコートに変え⑨のミドル、⑩の3ptsで得点する。ミスが出始めた宇工だが⑤が2連続得点で返す。残り3分宇工⑤がゴール下を決め36-30としたところで市川はTO。その後市川はフリーでシュートは打つがなかなか決まらずフリースローを確実に決めた宇工が50-38とリードを広げ前半終了。

3P 3P開始早々、市川は⑨の連続3ptsで反撃するがミスが多くなかなか点差が縮まらない。宇工もゾーンプレスゾーンを仕掛け簡単に流れを渡さない。残り4分、市川は宇工④の1対1が決まったところでこのピリオド2回目のTO。その後も流れは変わらず、81-59宇工リードで3P終了。

4P 反撃したい市川は⑨の3PTSや⑥、⑩の合わせなどで点差を詰める。宇工もミスが出るが1対1で有利に立っておりプレーに余裕があり崩れない。市川は⑨がこの日8本目の3ptsを決めるが宇工は最後まで主導権を渡さず、105-86で宇工が勝利する。